

【宮城県】養豚場において豚熱発生！！（国内75例目）

令和3年12月12日、宮城県大河原町の養豚農場で豚熱(CSF)の発生が確認されました。

なお、宮城県の農場での発生は初めてです。

**◇発生概要****1 発生場所及び飼養状況**

- ・所在地：宮城県大河原町
- ・飼養状況：約9,700頭
- ・疫学関連農場：1農場

2 経緯

12月11日：農場から異状（複数頭でチアノーゼ）が見られるとの通報を受け、病性鑑定を実施

12月12日：農研機構動物衛生研究部門（国の専門研究機関）で精密検査を実施し、豚熱の患畜であることが判明

★東北地方の養豚農場での豚熱発生は山形県に続き2例目であり、感染エリアが拡大しています。

豚熱はワクチン接種のみで発生を防ぐことはできません。
引き続き油断せず、警戒を強めて下さい。

＜特に以下の予防対策の点検・確認を再度お願いします＞

- ・飼養する豚の異状の有無の確認と異常豚発生時の早期通報の徹底
- ・防鳥ネット・壁・金網等の破損箇所の再確認と修繕
- ・豚舎内では専用長靴・衣服へ交換
- ・長靴や車両の消毒等を行い、ウイルスの人・車両又はイノシシなどの野生動物を介した農場及び豚舎内への侵入防止対策を徹底
- ・農場周囲の定期的な消石灰散布、踏み込み消毒槽の毎日交換など消毒の徹底
- ・イノシシの餌場となる雑木林の伐採等

飼養豚に異状を認めたら、速やかに管轄の家畜保健衛生所に御連絡ください。

なお、12月8日にお知らせしました飼養衛生管理者研修の動画について、ご視聴いただけましたでしょうか？
ご視聴されましたら家保あて連絡願います。